HYPER WATER Racing INGING

SUPER GT 2026 SERIES RACE REPORT Rd.3

第３戦

MOTEGI GT 250km RACE

モビリティリゾートもてぎ

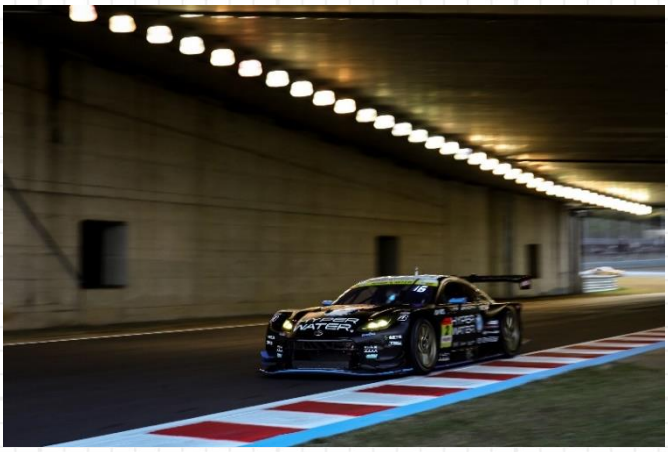
予選
決勝

11月7日(土)

天候：晴れ　コース状況：ドライ

当初6月に開催が予定されていた第3戦マレーシア・セパンラウンドは中東情勢の影響で2027年に延期となり、その代替戦が最終戦もてぎの前に実施されることになった。最終戦のひとつ前のレースということでサクセスウェイトは半減(106kg→53kg)で、レース距離も250kmと短い。HYPER WATER INGING GR86 GTのドライバーランキングはポイントリーダーと20点差の5位であり、逆転タイトルのチャンスは残している。6日に行われた公式練習は晴れ／ドライのコンディション、気温も20℃近くまで上昇する中行われ、ロングランをメインで走行したこともあり、トップとは1.223秒差の15位だった。

予選：21位　決勝：12位

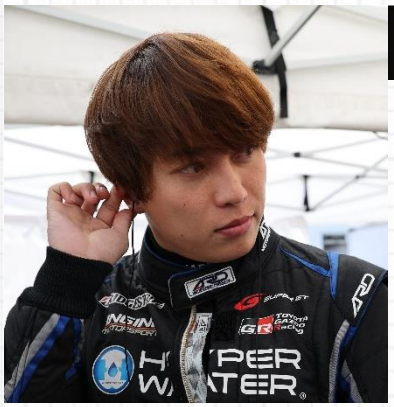




7日も朝から晴天に恵まれ、気温15℃、路面温度18℃の9時にGT300クラスの公式予選がスタートした。今回と翌日の最終戦は、GT300全車が20分間のセッションでコースインし、ドライバーもひとりでアタックをする形となる。20分間のセッションが10分を経過するころ、堤優威がコースイン。5周目に1分46秒986のベストタイムをマークしたが、トップタイムとは1.568秒差の21位だった。予選を担当した堤は「クリアラップも取れたしミスなく走れたのでトップ10に入れると思っていましたが、他のクルマとのパワーとウェイトの差が出たのかなと思います。決勝はタイヤ無交換に賭けて諦めず頑張ります」と前向きだった。

決勝レースは晴れ／ドライ、気温19℃、路面温度22℃というコンディションの14時に2周のフォーメーションが始まった。14時6分シグナルグリーンで250kmレースはスタートした。しかし上位の車両の速度が上がらず5位以降はダンゴ状態となり大混雑。3コーナーで5位争いの車両が接触スピンしたことで多重事故となった。スタートを担当した卜部和久は3コーナーをアウト側に避けて接触を回避。17位へ順位を上げることになった。すぐにFCY(フルコースイエロー)からセーフティカー(SC)導入となり、コース上のオイル処理などを終えた約20分後、7周完了でバトルが再開。ここで卜部は1台をかわし16位へ順位を上げた。11位から卜部までの6台は1パックとなり、前を伺うもオーバーテイクは難しい状態だった。

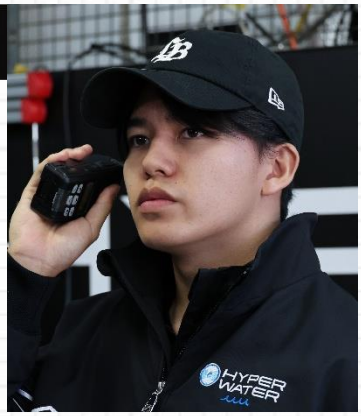
レースの1/3が経過した16周で卜部はピットイン。ここで堤に交代し燃料を補給、タイヤは予定どおり無交換でコースへ。一旦順位は22位へ落とすが、全車のピット作業が終わると14位へ順位は繰り上がった。その後9位の車両にドライブスルーのペナルティが出たことで、堤は難なく13位へ順位を上げた。その後は同じブリヂストンタイヤユーザーである65号車メルセデスに接近されるも、堤は最後までこれを抑えて13位でチェッカー。その後上位車両の車検不合格の為正式結果は12位となり、４ポイントを追加しドライバーポイントで4位となった。ポイントリーダーとの差は18点で逆転タイトルの可能性を残して明日2026シーズンの最終戦に臨む。



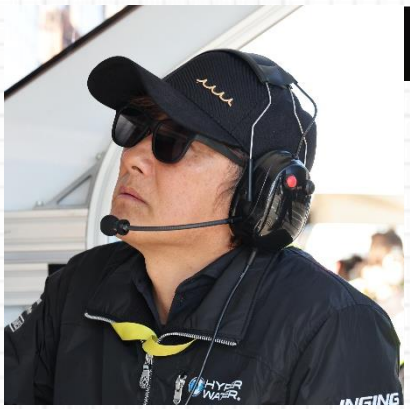
ドライバー　堤　優威

「交代してから5台ぐらいの接近戦となりましたが、みんなBoP(性能調整)がきつい組だったので抜けるような状態ではありませんでした。ただ65号車メルセデスには抜かれたくなかったので、そこは良かったと思います。僕らのチームはミスなく、予選順位(21位)からしっかり順位は上げていますし、そういう意味ではすごく良かったと思いますし満足にやり切ったなという感じです。ただ今日の順位は残念です。明日はサクセスウェイトをすべて下ろして、給油リストリクターもないレースになりますから、どんな走りができるのかとても楽しみにしています」

ドライバー　ト部 和久



「スタートは前が詰まっていた中でしっかり決めることができ3コーナーまでに3台ぐらいは抜くことができました。アクシデントのあった3コーナーでは接触回避の為外側に逃げたので、そこでまた抜かれてしまいました。前にいた数台はすべてヨコハマタイヤユーザーでペースが良かったのですが、それにペース良くついていけましたし、SC解除後は#25スープラも一発で抜けたので自分の出せるものは出し切ったのかなと思います。明日はシリーズ3位を狙えそうな位置ですし、もちろん諦めずチャンピオンを目指して頑張ります」



監督　加藤 寛規

「順位はともかくレースはミスなくうまくやり切ることができました。ただライバルがいかんせん速く厳しいレースでした。ただ今日分かったこともありますし、明日につなげられることもあります。最終戦はウェイトを下ろして給油のリストリクターも外すので、今日よりはもっと戦えるのではないかと思います。前を向いて頑張っていきたいと思います。チームも含めてドライバーたちがやってくれると思いますし、チャンピオンの権利はまだありますから、諦めません。



